

2020年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時: 2021年3月16日(火) 18:00 ~18:49

場所: 聖路加国際大学 Web(Zoom)会議

議長: 片岡 弥恵子(委員長)

委員:

出席/片岡 弥恵子、鈴木 美穂、鶴若 麻里、縄 秀志、小野 若菜子、小林 京子、高橋 奈津子、川上 千春、大久保 暢子、小山田 恭子、中田 諭、木下 康仁、竹森 志穂、蛭田 明子、山田 雅子、中山 昌明、中村 めぐみ、墨岡 亮、神里 彩子、横瀬 利枝子、
欠席/ 青木 美紀子
(出席者 20人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査) 司会:委員長 片岡 弥恵子

① 内田 朋子 (助産学 博士)

「分娩中の硬膜外麻酔使用について妊婦と助産師における共有意思決定の質向上」

研究責任者(内田氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

② 笹山 桐子 (国際看護学 博士)

「海外勤務する邦人を対象とした口腔保健増進のためのeラーニングプログラムの開発と効果の検討:パイロット無作為化比較研究」

研究責任者(笹山氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付承認

2. 審議事項:その他の本審査

委員長より、審議事項(添付資料参照)について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により、承認となった。

3. 報告事項:新規申請の承認報告

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、添付資料の通り報告された。

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、その他の報告

既に承認されている研究について、添付資料の通り報告された。

5. 委員長からの報告、連絡事項、検討事項

① 今月の審議に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。

6. 事務局からの報告、連絡事項

倫理指針改定について説明がされた。

7. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2021年4月20日 18:00~(Zoom 会議 又は大学 本館 PC ルーム)にて開催。

1.新規申請(本審査)(2021/3/16審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
本審査	20-A095	海外勤務する邦人を対象とした口腔保健増進のためのe-ラーニングプログラムの開発と効果の検討:パイロット無作為化比較研究	国際看護学	博士	笹山 桐子	条件付き承認
本審査	20-A097	分娩中の硬膜外麻酔使用について妊婦と助産師における共有意思決定の質向上	助産学	博士	内田 朋子	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2021年 3月 16日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

2.審議事項:その他の本審査(2021/3/16審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
継続	16-A079	慢性疾患在宅療養者のヘルスリテラシーを向上する患者参加型テレナーシングシステムの開発と混合研究法による評価	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
継続	17-A069	聖路加国際大学大学院修士課程特別講義「チームビルディング」履修者におけるアドベンチャーリーダーシッププログラム参加前後のチームビルディング意識の変化とチームアプローチ評価尺度の開発	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
継続	18-A010	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中高齢者の退院先選択のための意思決定ガイドに関するクラスターランダム化比較試験:意思決定の葛藤と参加への効果	看護情報学	博士	青木 頼子	承認
継続	18-A055	就業後に注意欠如・多動症と診断された人が情報を得て共同意思決定の手法で治療方針を検討するプロセス-治療選択の手引きの有用性の検討	精神看護学	博士	青木 裕見	承認
継続	18-A074	混合研究法を用いた看護研究支援ツール(m-STAR-21)の妥当性の検討	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
継続	18-A078	インドネシアの妊娠中の女性の家庭内受動喫煙を予防する、コミック教材を用いた介入の効果:ランダム化比較試験	国際看護学	博士	稲岡 希実子	承認
継続	19-A011	小児がんの子どもと家族のがんに関する情報ニーズの調査	国際看護学	博士	山路 野百合	承認
継続	19-A028	日本に居住する外国人の健康診断受診行動	国際看護学	博士	二田水 彩	承認
継続	19-A035	質的研究論文の教育資源提供ネットワークQUARIN-Jの開発	精神看護学	教授	萱間 真美	承認
継続	19-A048	LGBTへの理解を促進する医療人育成の教育方略の検討	生命倫理	准教授	鶴若 麻理	承認
継続	19-A081	保健師の倫理的実践を促進するための実装研究:倫理的課題と倫理的支援環境に関するインタビュー調査	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ	承認

継続	19-A086	経口免疫療法の選択プロセスの実態と意思決定支援ニーズ調査	看護情報学	博士	端山 淳子	承認
継続	19-A096	専門職が認識する第2子妊娠中から出産後における経産婦のもつ困難性	助産学	博士	森山 希	承認
継続	20-A011	分娩場所意思決定ガイドの実行可能性の評価	助産学	博士	妹尾 祥子	承認
継続	20-A014	末期心不全患者の治療や療養場所の選択に関する意思決定プロセス	慢性期看護学・がん看護学・緩和ケア	博士	川原 佳代	承認
継続	20-A017	日本-スリランカ共和国の看護・医療系大学における遠隔看護教育の現状と課題:実態調査	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
継続	20-A018	免疫チェックポイント阻害薬関連有害事象に関する看護師の知識と影響因子の検討	がん看護学・緩和ケア	修士	辻 美紀子	承認
継続	20-A021	がん薬物療法を受ける進行がん患者のケアに携わる看護師の がん悪液質に関する知識とアセスメントの影響要因	がん看護学・緩和ケア	修士	佐藤 理佳	承認
継続	20-A023	人工呼吸器離脱アセスメントプログラムJ-BWAPを学習するe-learning教材の開発と学習効果の検討:ランダム化比較試験	成人看護学	博士	木村 理加	承認
継続	20-A034	新人看護師の勤務終盤の「振り返り」における実地指導者の教育的支援の実態	看護教育学	修士	青池 英子	承認
継続	20-A039	助産師は無痛分娩をする女性をどのように支援しているか	ウィメンズヘルス	修士	間宮 万貴	承認
継続	20-A043	デュアルモニタリング型テレナーシングシステム利用による慢性疾患等在宅療養者の増悪予防等の評価-前向き縦断的混合研究法(CIPDAHCaV study)	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
継続	20-A048	養護教諭養成における危機管理に対する学びに関する研究—養護実習の実習校での新型コロナ感染症対策を通して—	公衆衛生看護学	教員	浦口 真奈美	承認
継続	20-A058	小児がんの子どものためのコミュニケーションツールとしての絵本の作成と評価	国際看護学	博士	山路 野百合	承認
継続	20-A070	行動変容をもたらすパートナーシップに基づく市民主体型便秘改善プログラムの開発	看護技術学	教授	縄 秀志	承認

継続	20-A072	生涯を通じた健康の実現に向けた「人生最初の1000日」のための、妊娠前から出産後の女性に対する栄養・健康に関する知識の普及と行動変容のための研究	国際看護学	教授	大田 えりか	承認
継続	20-A073	妊婦の胎児ボンディングとファシリテーター/レギュレーター指向との経時的関連	助産学	博士	山田 路子	承認
継続	20-A075	認知行動療法・周産期メンタルヘルスに関する尺度の作成	助産学	博士	青山 さやか	承認
継続	20-A081	COVID19のケアに従事した救急領域看護師の困難と必要な支援	国際看護学	修士	松井 香保里	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2021年 3月 16日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

3.報告事項:新規申請の承認報告(2021/2/9~2021/3/8審査分)

承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
20-A089	医療機関における看護部トップマネジャーが認識する看護師長の昇進の決定要素	看護管理学	修士	安藤 弓子	承認
20-A093	保健医療のリスク情報の理解を支援する手引きの内容適切性評価	看護情報学	博士	鈴木 ひとみ	承認
20-A094	看護実践の中にある漢方医学的ケア	在宅看護学	教授	山田 雅子	承認
20-A087-1	「通院中断している統合失調症患者に手を差し伸べるプロトコル」実装の評価	外部組織	外部申請者	三ヶ木 聡子	承認
20-C001	組織変容を伴うプリセプター保健師教育支援プログラムの開発 ～プリセプター保健師研修の実行可能性の検討～	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2021年 3月 16日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

4.報告事項:既承認研究の軽微な変更、その他の報告(2021/2/9~2021/3/8審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
変更申請	18-A004	海外留学プログラムの学生の教育評価に関する研究	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ	承認
変更申請	18-A074	混合研究法を用いた看護研究支援ツール(m-STAR-21)の妥当性の検討	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
変更申請	18-A081	妊娠糖尿病女性に対する多職種連携による継続支援体制:全国実態調査	助産学	博士	松永 真由美	承認
変更申請	19-A008	妊娠糖尿病女性に対する多職種連携・継続支援に対して専門職が認識する支援の実際と課題:インタビュー調査	助産学	博士	松永 真由美	承認
変更申請	19-A010	AYA世代にある小児がんサバイバーの移行期ケアの現状と課題	慢性期看護学・がん看護学・緩和ケア	准教授	高橋 奈津子	承認
変更申請	20-A002	入退院を繰り返す精神障害者が地域生活を継続する要因	精神看護学	助教	高妻 美樹	承認
変更申請	20-A007	病院看護部における倫理教育プログラムの研究—インタビュー調査を通して—	生命倫理	准教授	鶴若 麻理	承認
変更申請	20-A039	助産師は無痛分娩をする女性をどのように支援しているか	ウイメンズヘルス	修士	間宮 万貴	承認
変更申請	20-A064	歌舞伎俳優の「健康」の言説—産業安全保健との接点を求めて—	公衆衛生看護学	博士	湯浅 晶子	承認
変更申請	20-A073	妊婦の胎児ボンディングとファシリテーター/レギュレーター指向との経時的関連	助産学	博士	山田 蒔子	承認
変更申請	20-A088	コロナ禍における看護系大学教員のTransformative Learning	看護教育学	教授	小山田 恭子	承認
終了報告	16-A079	慢性疾患在宅療養者のヘルスリテラシーを向上する患者参加型テレナーシングシステムの開発と混合研究法による評価	老年看護学	教授	亀井 智子	
終了報告	18-A010	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中高齢者の退院先選択のための意思決定ガイドに関するクラスターランダム化比較試験:意思決定の葛藤と参加への効果	看護情報学	博士	青木 頼子	

終了報告	19-A050	精神科中堅看護師を対象とした「疾患と治療の受け止めが困難な患者への対応」心理教育プログラムの作成と混合研究法を用いた評価	精神看護学	博士	根本 友見	
終了報告	19-A088	高齢血液腫瘍患者の治療前高齢者機能評価と治療後の生活の支障の関連:診療録データを用いた分析	看護理論・看護学研究法	教授	鈴木 美穂	
終了報告	20-A011	分娩場所意思決定ガイドの実行可能性の評価	助産学	博士	妹尾 祥子	
終了報告	20-A013	肺がん高齢療養者を対象とした在宅モニタリングに基づくテレナーシングの実践:症状の特徴と経験に焦点を当てて	老年看護学	修士	原田 智世	
終了報告	20-A018	免疫チェックポイント阻害薬関連有害事象に関する看護師の知識と影響因子の検討	がん看護学・緩和ケア	修士	辻 美紀子	
終了報告	20-A021	がん薬物療法を受ける進行がん患者のケアに携わる看護師の がん悪液質に関する知識とアセスメントの影響要因	がん看護学・緩和ケア	修士	佐藤 理佳	
終了報告	20-A023	人工呼吸器離脱アセスメントプログラムJ-BWAPを学習するe-learning教材の開発と学習効果の検討:ランダム化比較試験	成人看護学	博士	木村 理加	
終了報告	20-A030	外国にルーツを持つ生徒への性教育の映像教育教材の開発	助産学	修士	小松 みなみ	
終了報告	20-A031	脳血管障害をもつ人と生活する家族介護者の心理過程 -在宅移行期に着目して-	ニューロサイエンス看護学	修士	岩室 理恵	
終了報告	20-A038	「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が急性期病院の退院支援に及ぼす影響 - COVID-19以外の患者に焦点をあてて -」	在宅看護学	修士	中江 紀子	
終了報告	20-A039	助産師は無痛分娩をする女性をどのように支援しているか	ウィメンズヘルス	修士	間宮 万貴	
終了報告	20-A046	急性期脳卒中患者を対象とした背面開放座位ケアプログラムの統一化に向けた取り組み -背面開放座位ケアプログラムの作成と修正-	ニューロサイエンス看護学	修士	小林 由紀恵	
終了報告	20-A076	ヘルスリテラシーと意思決定スキルに関するWeb調査	看護情報学	教授	中山 和弘	

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2021年 3月 16日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子